

学校だより

臨時休校

令和3年6月7日

コスモス



No.4

安謝小学校校章
ハートは「誠意」を表し、ペン
は「勉学」を表しています。
それぞれが3つあり、「協力」
することを意味しています。



教育目標: *自ら学ぶ子 *心豊かな子 *たくましい子



臨時休校について



先週の金曜日(6/4)にお知らせした通り、那覇市内の小中学校は、明日8日(火)から20日(日)まで臨時休校となりました。これまで、文部科学省や沖縄県も「できるだけ臨時休校をせずに各学校で感染防止対策を行いながら、子ども達の“学びの保障”を行う」という方針でした。しかし、今回、県立学校の臨時休校を決定し、各市町村へも同様の措置を求めた県や臨時休校を決定した那覇市の判断は、現在の沖縄県・那覇市の感染状況がこのままでは極めて危険であるという強いメッセージが込められています。私たち一人一人が「自分ごと」として意識して感染対策を徹底していかなければなりません。臨時休校期間中、各ご家庭におかれましては、①検温及び健康観察シートの記入 ②うがい・手洗い ③不要不急の外出を控える ④規則正しい生活 で過ごせるよう宜しくお願いいたします。

休校期間中、学校からの連絡は学校メール「すぐメール」にて行います。まだの登録していない方は早めにお問い合わせください。登録の仕方が分からない場合は、学校にご連絡ください。また、学校ホームページでも随時、学校からの情報や連絡等を掲載しますのでご確認ください。学校ホームページには、子ども達が学習課題等で使用する学習サイトコーナーも設置しております。ご家庭での自主学習等にもご活用ください。



タブレット端末(chrome book)の貸し出しについて

今回、「GIGA(ギガ)スクール構想(令和時代のスタンダードとしての1人1台の端末環境)」は、コロナ禍により急ピッチに進められ、本校も1人1台のタブレット端末(chrome book)が導入されました。現在、県教育委員会より示されたICT活用促進ループリック(裏面)の<ステップ1>に入った段階で、「職員研修等の実施」を行っているところです。今後、計画的にステップアップしていきます。今回の臨時休校では、子ども達のタブレット端末を使ってオンライン等の授業は実施できませんが、学習課題等で動画を視聴しての内容や、先生方からのメッセージ等をYouTube配信したりすることも予定しています。また、Zoom等を活用して短い時間でのオンライン交流も実施したいと考えております。(主に高学年)その際にご家庭にパソコン・タブレット等の端末やWi-Fi環境が必要となります。ご家庭でパソコン・タブレット等の端末やWi-Fi環境が整っていない場合は、臨時休校期間中、貸し出しいたしますので学校の方にご相談ください。貸し出しの場合は、申請書を記載していただき、保護者にご来校いただき受け取りをお願いいたします。



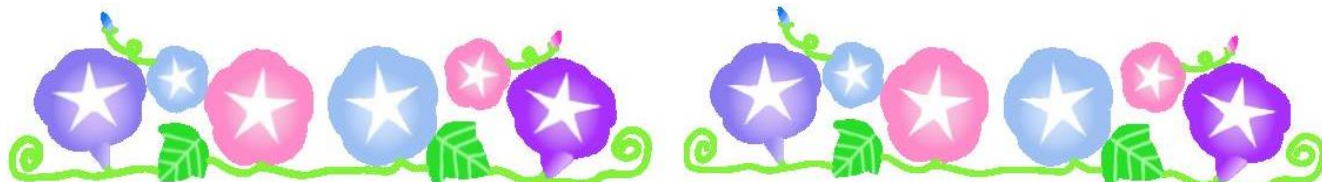
※子ども達一人一人の学習用タブレットにGoogleアカウントとパスワードが設定されており、今後、各ご家庭にも「通知書」を配布する予定です。子ども達のGoogleアカウント等を使用することにより、学校と保護者の皆様も繋がることができ、各種お知らせ等の配布も可能になる予定です。



休校中の学習課題について

本日、臨時休校期間中の「学習課題」を配布しております。各学級で課題の進め方を説明・確認し子ども達が主体的に取り組めるように指導しています。学習計画表に基づいて、プリントや学習ドリル、ノート等を中心に学習を進めていきます。詳細につきましては、「各学年からのお知らせ等」でご確認ください。学習課題は、臨時休校明けに提出してもらい、各学級で確認させていただきます。ご家庭の方でも子ども達の取り組み状況の確認や声かけをお願いいたします。



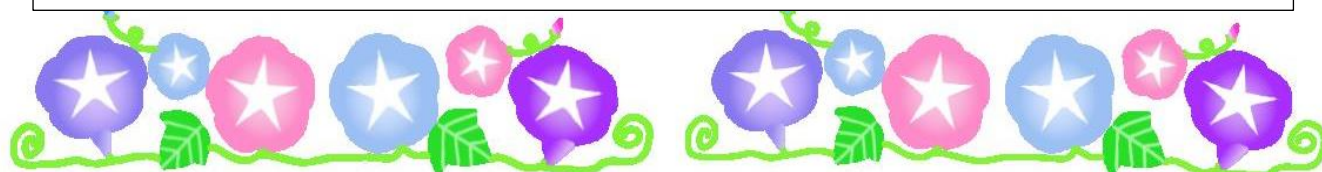


臨時休校中の過ごし方(安謝っ子のみなさんへ)

今回の臨時休校は、これ以上の感染拡大を防ぎ、みなさんやみなさんの大事な家族の命を守るためです。そのために次の3つのことをしっかり守ってください。

- 1 一つ目は「ステイ ホーム」です。お友だちの家に遊びに行ったり、外でお友だちと一緒に遊ぶことはひかえてください。できるだけお家で過ごしてください。
- 2 二つ目は「規則正しい生活」です。夜、遅くても9時から10時までには寝ましょう。夜遅くまで起きてゲームやスマートフォンなどをすると朝起きるのが難しくなります。1日のスケジュールを決めて生活しましょう。
- 3 三つ目は「学習課題」です。先生から配布された学習課題をしっかりと、ていねいに取り組みましょう。毎日、コツコツやること、ていねいにしっかりとやることが大切です。学校再開の日に先生に提出します。
お勉強で分からないことがあったら学校に連絡してくださいね。

※学校再開後、元気な安謝っ子みなさんに会えることを先生方は心から願っています。“心も体も コロナに負けない 安謝っ子” みんなで乗り越えましょう！



いつでも(1)「ちょっと(C)」つな(2)がる(T)		令和3年度版 ICT活用促進ループリック (例示)			
段階		「いつでも(1)」「ちょっと(C)」「つな(2)がる(T)」			
取組		〈ステップ1〉 研修を実施する	〈ステップ2〉 使ってみる	〈ステップ3〉 活用してみる	〈ステップ4〉 色々と活用できる
教員同士 がつながる		・教員に対して、アンケートや共有ドライブ、Web会議ツールなどの機能を活用し、教員同士でつながる方法について、校内研修等を実施している。	・校内で中心となる担当を配置し、アンケートや共有ドライブ、Web会議ツールなどの機能を活用し、職員に対し情報共有を行っている。	・各主任を中心に、アンケートや共有ドライブ、Web会議ツールなどの機能を活用して、職員に対し情報共有を行っている。	・職員間で、必要に応じてクラウドの機能を活用して、情報共有することができる。
教員と子ども がつながる		・教員に対して、アンケートや共有ドライブ、Web会議ツールなどの機能を活用し、子どもとつながる方法について、校内研修等を実施している。	・教員が子どもの端末を活用して、授業の振り返りや小テストを実施している。 ・教員が子どもの端末にデータで教材や宿題などを提供している。	・教員が子どもの端末を活用して、課題の提出及び採点等を実施している。 ・教員が子どもの端末を活用して、オンラインでつながっている。	・教員が子どもの端末を活用して、必要に応じてやりとりすることができる。 ・教員が子どもの端末を活用して、オンライン授業を行うことができる。
子ども同士 がつながる		・教員に対して、ホワイトボードやスライドなどの機能を活用し、子ども同士がグループ学習でつながる方法について、職員研修等を実施している。	・教員が子どもの端末のホワイトボードやスライドなどの機能を活用して、グループ学習を実施している。	・子ども同士が自分の端末のホワイトボードやスライド機能を活用して、話し合いを行っている。	・子ども同士が自分の端末の機能や思考ツールを活用して、話し合いや発表等を行うことができる。 ・子ども同士が、資料やレポートなどを協働で作成できる。
学校と家庭 がつながる		・教員に対して、アンケートや共有ドライブ、Web会議ツールなどの機能を活用し、学校と家庭がつながる方法について、職員研修等を実施している。	・教員が家庭の端末やスマホ等を活用して、アンケートを実施したり、各種通信を配信している。	・教員が家庭の端末やスマホ等を活用して、個人面談の日程希望調査や朝の欠席の連絡など、必要な連絡を取り合っている。 ・教員がWeb会議ツールを使って、保護者に対しオンライン説明会等を実施している。	・教員が家庭の端末やスマホ等を活用して、必要に応じてやりとりすることができる。 ・教員がWeb会議ツールを使って、学校へ登校できない子どもに対してオンライン学習を実施することができる。